



AA日本ニュースレター

AA 日本ゼネラル・サービス・オフィス TEL03-590-5377
〒171 東京都豊島区池袋 2-23-3 橘ビル 9F FAX03-3590-5419

〒100-91
東京都中央郵便局
私書箱 916

No.45

第六回AA日本ゼネラル・サービス・ミーティング開催

テーマ

《20周年へ向けての日本のAAの棚卸し》 パート

日本ゼネラル・サービス・ミーティングも多くの方々のお力添えをいただき、回を重ね、前44号の紙面でもお知らせしておいた通り、来る6月24・25・26日の3日間、例年どおり東京、深川のホテル・B & Gにて開催される運びとなりました。

このサービスミーティングも回を重ねるに従い、遅々とした歩みではありますが、いよいよ本来の目的に向かえるようになったと感じられ、事務局と致しましてここに厚く御礼申し上げます。

開催までの日時も後2カ月と迫ってまいりましたゼネラル・サービス・ミーティングは皆様ご存じのように、日本全国のAAメンバーにより各地域から選出された、全国地域評議員19名、ワールド・サービス・ミーティング評議員1名、新たに選出されたJ S O オフィス運営委員7名、J S O スタッフ3名が中心となり、全国的見地に立ったサービスの諸問題について情報や意見を交換し、経験と力と希望を分かち合う場となっていますが、AAのサービス、一体性、回復に関心を寄せられる方なら、どなたもオブザーバーとして同じ分かち合いの場に参加することができます。

今回からは、各地のセントラルオフィススタッフ6名の方にも参加していただき、セントラルオフィススタッフ会議という分科会を開催する計画です。

事実、過去5回の開催の際にも、多くの方々に参加をいただき、貴重なご意見をお聞かせ願ったり、また参加された方がここで分かち合った経験をその後の地域のサービス活動に大いに役立てられたとも聞いております。

ぜひ、一人でも多くの方に参加していただきたいと願ひまして、以下に参加に対しての説明をさせていただきます。

今回のテーマとしては、前第5回と同様の20周年へ向けての日本のAAの棚卸し『パート』とさ

せていただきました。このテーマに決定された背景には、方針委員会を通じて各地の後期の評議員に向けてテーマ及び議事内容のアンケート調査を行った結果、返送いただいた回答の中にこのテーマを希望する提言が非常に多かったことと、前回のサービス・ミーティングのとき、時間等の制約もあって十分に話し合いが尽くされなかったという感じをだれもが抱いていたということがあります。

地域的に、また全国的に見て、本当に日本のAAがAAの伝統やステップ、概念に沿った方向で進んできたか否かを、来年3月24～26日に開催されるAA日本20周年記念集会の前に今までの歩みを振り返り、もう一度原点に立つための棚卸しを、各地域の多くの経験を持ち寄って十分な分かち合いを尽くしたいと願っております。

概略のプログラムは以下のとおりです。

24日

- 10:00 受付
- 11:30 ランチパーティ
- 13:30 元オフィス幹事挨拶
新オフィス運営委員挨拶
- 15:00 J S O よりの報告と説明
出版局関係 20周年史
事業報告 決算 事業計画 予算等
- 19:00 AA日本20周年記念集会について

25日

- 09:00 W・S・M評議員について
- 10:00 全体会議 棚卸し AAとは
- 13:00 全体会議 棚卸し 役割
- 16:00 全体会議 棚卸し 評議員
- 19:00 分科会
 - a サービスネットワーク
 - b 専門家協力

- C 広報
- d 財務
- e 文書
- f オフィススタッフ会議

26日

09:00 全体会議
各分科会報告、協議、採択

15:00 終了

このびっしりと詰まったスケジュールの中で行われる分かち合いの結果が、今後の日本のAAを理想に一步でも近づけ、今後の発展の布石とするために、事務局と致しましては一人でも多くの皆様の参加を重ねてお願いする次第です。

公私ともにご多忙な時期とは存じますが、下記の要領をご参照されご希望の方はJ S O内の事務局までお申し込みください。なお、宿泊、食事も事前の予約が義務づけられておりますので、事務局としての締め切りは5月末日とさせていただきます。

記

日時 1994年6月24日 AM9:00
" " ~ 6月26日 PM3:00

会場 東京都江東区深川1-6-3
ホテル・B & G
第一第二会議室

交通 東京駅より車で10分
地下鉄東西線門前仲町西口3番出口
より徒歩7分


費用


	24日	25日	26日
宿泊	6,900	6,900	
朝食		1,000	1,000
昼食	4,000	1,500	1,500
夕食	2,000	2,000	


初日の昼食が高額となっていますのは、ランチパーティーのためです。


以上が開催の概略ですが、お分かりにならない点は、事務局までお問い合わせください。なお、事務局手不足のため、誠に勝手ながらお申し込みは、こちらに用意してありますお申し込み用紙に必要事項をご記入され、費用と共に現金書留にてお送りいただくこととしておりますので、用紙をご請求ください。


各地のラウンド
アップの予定

 九州ラウンドアップ
7/15(金) ~ 17(日)
大分県玖珠郡九重町飯田高原九重ハイランドホテル

 小野浦ラウンドアップ
8/26(金) ~ 28(日)
愛知県知多郡美浜町小野浦知多半島ユースホステル

 東北ラウンドアップ in 猪苗代「一緒にやろう」
9/10(土) ~ 11(日) 福島県猪苗代湖畔翁島荘

 関西ラウンドアップ
9/23(金) ~ 25(日)
神戸市しあわせの村・野外活動センター

 関東甲信越秋季ラウンドアップ「You遊」
11/4(金) ~ 6(日)
神奈川県立三浦臨海青少年センター
少年自然の家三浦臨海学園

ニュージーランドWSM評議員
来日ワークショップ

(通訳付)

前号で予告しましたワークショップの詳細が決まりました。

今回来日するニュージーランドのワールドサービス評議員の一人は、地方裁判所判事の経験があり、特に矯正施設へAAのメッセージを運ぶ経験について興味深い話が聞けるのではないかと思います。また、病院、施設、矯正施設へのメッセージ活動やAAの広報活動、専門分野との協力関係について、ニュージーランドの経験を参考にしながら、日本のAAの今後の指針を探っていけるような集まりにしたいと考えています。

アルコール関連分野の関係者の皆様、AAの仲間の皆様、関心のある方ならどなたでも、是非参加して、たくさんの経験の分かち合いをしませんか。

5月29日(日) 9:30 ~ 16:00

於 東京都中央区「月島区民館」三階
お問い合わせはJ S Oまでお願いします。

《12ステップ・グループ》の モデルの役割を担って



先日、GA（ギャンブラーズ・アノニマス）のニューズレターを読んでいたら、GAがアメリカで始まったのは、AAメンバーでもあったギャンブル狂が、AAのミーティングの知恵をギャンブルに当てはめて、1957年に最初のGAミーティングを始めたということが分かった。一方、AAに助けを求めて出席した過食に苦しんでいた人が、GAメンバーからOA（オーバーイーターズ・アノニマス）のミーティングを始めよう勧められ、そのやり方を教えてもらいながらOAが1960年にロスアンゼルスで発足したという。

1953年に創立されたNA（ナーコティクス・アノニマス）も、AAをモデルにしてグループを始めたが、そのメンバーのほとんどが、グループの始まりのころには、多かれ少なかれAAのミーティングで力をもらったということである。

そこで、だいぶ以前に送られてきたAAGSO発行の専門家向けニューズレター「アバウトAA」（1988年春号）の記事を思い出し、昔のファイルを取り出した。「他の自助グループはAAとの関係をどのように考えているか」という見出しの記事からいくつかここに紹介したい。

CA（コカイン・アノニマス）のメンバーは、「わたしたちはAAに指針を求め、AAから多くの経験を学ばせてもらっている。でもステップ1に無力の対象が明らかにされているように、CAはAAの指針を大いに頼りにしているが、AAの人達とは違うという感じがある。AAもCAもやるべきことがたくさんある。それはアルコールからの回復であれ、コカインからの回復であれ、それぞれがそれぞれの仲間同士の援助をすることだ」。

そしてNAのニューズレター“ニューズライン”の記事を参照しながら、NA（ナーコティクス・アノニマス）常任理事メンバーの話がこう紹介されている。

「AAはその助けの手を純粋にアルコールクダ

けに向けることで、まだ苦しんでいるアルコールクは安心してその手をつかむことができる。でもいつもAAの中で問題になるのは、アルコール以外の問題の人がAAミーティングにやってきて、その問題が頻繁に話されることで、メンバーどうしの共感があいまいになり、そのため、どの人にとってもこの場が自分の場所だという安心感が損なわれてしまうことだ」

さらに続けて、

「そこでAAはこの問題について大いに話し合いを重ねた結果、その方向を再確認した。それは、ノン・アルコールクの依存症者をAAメンバーとして受け入れることはできないが、“12のステップ”と“12の伝統”を取り入れたいというグループにはそれを自由に提供していこう、というものだった。

“協力すれど従属せず”の精神のなかで彼らはアルコールク以外の人達に対する支援を果たした。この難題にこのような賢明な解決方法を示したことで、ナーコティクス・アノニマス（NA）が生まれた」。さらにテキサスのあるAA常任理事は、「AAの12のステップのおかげで、わたしばかりではなく、数え切れないほどの人の命が救われました。AAがAAの持つすべてのものを自由に分かち合おうとする姿勢、そして目的を一つにしぼる必要性をあくまでも守ろうとする姿勢を貫いていることで、あらゆる問題を持つ人の回復の道が開けたのだと思います」。

同じ病気、あるいは同じ経験を持つ人の中には同情はないが、共感がある。この共感こそが、自助グループの始まりなのだろう。自分の話をしたとき、「大変でしたねえ」と言われるか、「そう、そう、そうなのよね」「ぼくもまさにそうだった」と言われるかの違いだろう。共感を持ったとき、初めて自分の心がほかの人と通い合えたという安心感があ



る。その安心感があるからこそ、自分の居場所が見つかった、自分もここにどまってよいのだと感じることができるのだと思う。AAが、アルコールリズムからの回復というただ一つのことだけにしつこいほど固執しているのは、この共感を大事にしているからこそであり、だから、まだ苦しんでいるアルコールに回復のメッセージがより効果を持って運ばれるのだ。

とはいえ、AAのプログラムも、多くの人に助けられ、さまざまな宗教や直接的にはオックスフォード・グループの知恵と経験を基盤に生まれたものだという事実を、わたしたちは忘れてはいけないと思

う。

だから、アルコールではない問題を持ってAAに助けを求めてやってきた人に対してわたしたちができることは、12ステップ・グループの先輩として、わたしたちが持つ、グループやミーティングを運営するための方法や、ステップ実践の知恵を積極的に分かち合っていくことだろう。そのことが、その人の問題を分かち合うための自助グループの誕生に向けて、AAメンバーが応援できることなのだろう。

専門家や家族や周囲の人達からわたしたちがAAに向けてもらったように。

新刊案内

どうやって飲まないでいるか

翻訳改訂版(184ページ)1,200円(〒¥240)

AA内の用語や翻訳が整理され、このほど新しい版となって登場しました。

目次のページから

やめたばかりの人からよく聞かれる質問と回答
参照ページ

宴会やお酒の出る集まりではどのように
振る舞い、どうしゃべったらよいのか..... 139
家に酒を置いてもよいのか..... 45
今飲んでいないことを人に説明するには..... 143
セックスについては..... 129
眠れないのだが..... 64
飲んでしまった夢をみたが..... 66
バーや飲み屋に入ることは..... 138
孤独になったときどうしたらよいのか..... 70
楽しくて幸せな限り、安全だろうか..... 90
専門的な援助を求めた方がよいか..... 123
昔の仲間や昔の習慣には見切りをつけるべきか 138

そしてすでに飲まない生き方の経験を重ねている人にとっても、どの項目を読んでも、飲まないで生きる喜びと尊さが感じられ、是非再読していただくことをお勧めします。

回復への道PART 11. それぞれの場合

188ページ 1,200円(〒240)

お待たせしました。日本のAAメンバーの個人の物語集として1991年9月に発行された第一巻に引き続き、このたび「回復への道」第二巻がいよいよ完成しました。

仲間の皆様への投稿の呼びかけにより今回収録されました第二巻には、ヤング・メンバー、女性メンバー、AAの経験の長いメンバー、非常にユニークな経験を持つメンバー等、年齢も社会背景もさまざまな8人のメンバーの回復への道を歩む経験が集められています。日本のAAのオリジナル版ですので、身近な共通体験を感じていただけることと思います。

わたしの責任



誰かが、どこかで助けをもとめたら必ずそこにAAの(愛の)手があるようにしたい。
それはわたしの責任だ。



左記、3種類のサービスマークを日本AAーアルコールクス・アノニマスーは、商標法改正に備え、発行する文書に積極的に使っています。各グループでも、案内状、議事録等にAAの文書であることを明確にするため、積極的に使用くださることを願います。